

平安女学院がマスコミに報道されました！！

注目の観光学—国際観光学部のおもてなしの学び

2016年1月17日 朝日新聞

京の作法 実践で学ぶ

■茶道や華道 接遇も練習

「はな、ちまを閉じい」
 2年生の杉本わかささん
 貴賓が訪ねられた茶室
 貴賓の先生の声が響く
 大、静寂した面影が正座す
 る女子学生。「ハハハハ」
 「一息」。お茶が淹れ、お茶
 を飲み干した。平安女学院大
 学国際観光学部（東京都東
 区）の茶道の授業だ。

二期（念）などの心遣い
 知られる茶道。きまぐれはし
 の心を身につけたい。おもて
 平安女学院大は、2013年
 度1年生の必修科目として
 た指導する。専任教員、前
 副学部長の千原孝一、前
 客の講義もあ。

幼園、中学、高校、短大
 も開講する平安女学院は、0
 年に4年制大学開学。07年
 に京都キャンパスに開設され
 た国際観光学部は、華道、着
 付け、旅館の文化による礼儀
 作法の指導など、京都ならで
 はのおもてなし教育を実施し
 てきた。
 現場での講義も盛んだ。約

■科学的に研究する試みも

20年東京五輪パラリン
 ピックの招致活動に際して世界に
 広まった「おもてなし」。そ
 の振興を研究する試みも始ま
 っている。東京大工科大学
 研究センターとANA総合研
 究所は昨年6月、おもてなし
 を科学的に理解するための共
 同研究に乗り出した。倉田空
 客営業員の制服をゲットに
 動員調査を入れ、機内での行
 動やチームワークを科学的に
 分析し、モデル化する試みも
 めざす。研究成果は、人材育
 成などに活用する方針だ。

「おもてなし」の講義を
 14年度に開設したのは筑波大
 だ。講師は、全国の学校や自治
 体でおもてなしについて教え
 ている日本航空元客室乗務員
 の江上いずみ客員教授だ。今
 全10回の講義で、日本と西洋の
 文化の違い、冠婚葬祭のし
 きたり、和室での立ち振る
 舞いなどを教える。東京五輪の
 「ホスト役」に求られているク
 ロバットラーを身につけて
 もらう。

平安女学院大は14年秋、京
 都府知事、京都市長、地元附
 属や茶道、華道の有識者、文系
 理系双方の研究者が参加する
 「日本おもてなし学会」を
 設立した。学会代表理事の山
 岡真一郎学長（8）は「日本の
 おもてなしは、再興のホスピ
 タリティより異が深い。学
 術的な研究を進め、本にま
 めたい」と話す。（伊東和貴
 記者）

ニッポンの観光を担う

日本の観光を語るときに欠かせないのが、「おもてなし」です。2020年東京五輪の招致演説で取り上げられ、世界的に知られるようになりました。でも、どうやって学ぶのでしょうか。2時間目は、おもてなしの本場・京都の学生たちを訪ねます。

1時間目 宝は足元に! 2時間目 おもてなしって? 3時間目 私たちのニセコ



●平安女学院大国際観光学部の学生たち
 「おもてなし」の授業で、茶室の作法を体験する学生たち



●「こびが大事」 尽くされる側の心得も知って
 筑波大 江上いずみ客員教授(おもてなし学)

東京五輪が開かれる2020年の訪日外国人は、2千万人を超すとされます。多様な文化的背景をもつ人々に対応した、「一掃ではないおもてなし」がますます重要になります。ホスト役として求められるのは、海外で通用するマナーだけではない。能、歌舞伎、華道、茶道など日本文化の魅力を外国人に紹介できるようにすることも大切だ。日本人は困っている人を助けようとする「尽くし上手」ですが、「ありがとう」がうまく言えない「尽くされ下手」です。尽くす側と尽くされる側の心が通って初めて、「おもてなし」が成立することを覚えて欲しいと思います。

貴品女性を目指す三谷さん—平安女学院の女子力

2016年1月21日・2月4日・2月11日 産経新聞

大学 女子力



「レセプションニストクラブ」で「貴品女性」に
 平安女学院大① 国際観光学部4年 三谷えりさん(22)

「レセプションニストクラブ」で活動している三谷えりさん(左)と、同僚の女性。のびやかな笑顔が印象的だ。

「レセプションニストクラブ」は、レセプションの技術を身につけるためのサークルだ。メンバーは、接客マナー、英語力、接客態度などを磨き、接客の現場で活躍している。三谷さんは、このサークルのリーダーとして、メンバーを指導している。

留学体験で日本の技術力を実感

平安女学院大② 国際観光学部4年 三谷えりさん(22)



「レセプションニストクラブ」で活動している三谷えりさん(左から2人目)

留学体験で日本の技術力を実感
 三谷さんは、留学体験を通じて、日本の技術力を実感している。特に、接客マナーや英語力など、接客の現場で役立つスキルを身につけた。

大学 女子力



「貴品女性」の育成目指し
 平安女学院大③ 山岡真一郎学長に聞く

山岡学長は、貴品女性の育成を目指している。貴品女性とは、接客マナー、英語力、接客態度などを兼ね備えた女性のことだ。山岡学長は、この女性を育てるために、様々な取り組みを行っている。

「貴品女性」の育成を目指す
 山岡学長は、貴品女性の育成を目指している。貴品女性とは、接客マナー、英語力、接客態度などを兼ね備えた女性のことだ。山岡学長は、この女性を育てるために、様々な取り組みを行っている。